

TOTO

アクアオート(寒冷地用)



TEL70AF型
TEL71AF型





商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。





1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)



取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。




- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	風呂、シャワーなどの「水場での使用禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

警告	
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。 火災の原因になります。
	直流電流や異電圧の電源での使用は避けてください。 火災の原因になります。
	浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。 故障・感電の原因になります。
	修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わないでください。 故障・感電の原因になります。

警告	
 アース接続	アース工事は電気工事士の有資格者がD種接地工事を行ってください。 故障や漏電のとき、感電の原因になります。
 必ず実行	電源プラグをコンセントに差し込むときは根元までしっかり差し込んでください。また、他の器具の電源プラグを差し込まないでください。 火災、または別売の凍結予防制御盤(TEC6型)の故障の原因になります。

注意	
	強い力や衝撃を与えないでください。 破損してけがをしたり、故障や水漏れの原因になります。
	屋外には設置しないでください。 別売の凍結予防制御盤(別売:TEC6型)とセットせずに凍結が予想される場所でご使用になる場合は必ず「9 水抜き方法」を参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。 故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
 必ず実行	フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターふたをゆるめず、止水栓を閉めてから行ってください。 水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

2

仕様

<仕様>

タイプ		AC100Vタイプ
電源電圧		AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時	0.4W
	動作時	ヒーターおよび電磁弁作動時 11W
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	凍結予防制御盤との組み合わせ	-10~40℃ (水温1~40℃)
	水栓単体(水抜き)	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
感知距離		学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)
電源コード長さ		0.85m
センサーコード長さ		0.85m
吐水流量		定流量弁(4L/分)により上限カット 必要に応じ止水栓にて流量調節可能
給水接続		R1/2
凍結予防		AC100V 10W 凍結予防ヒーター内蔵
用途		パブリックおよび一般住宅洗面所用

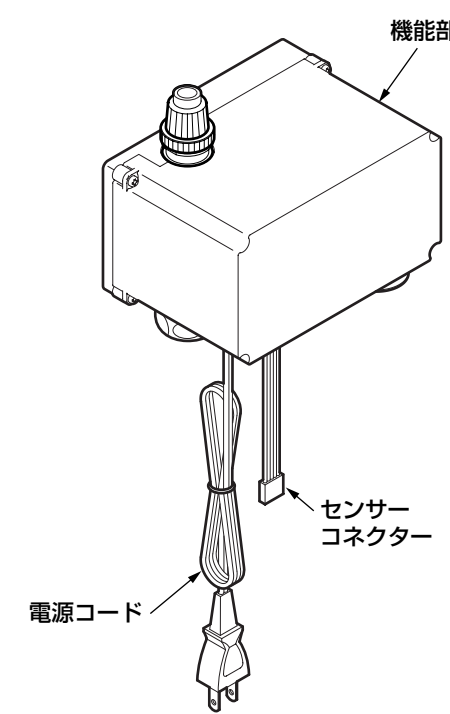
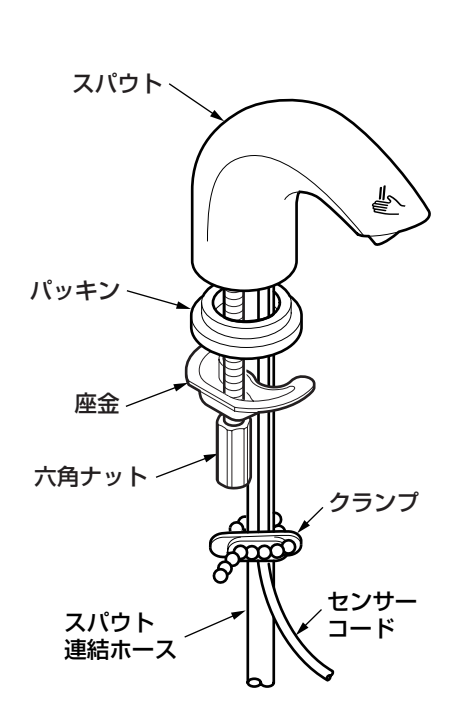

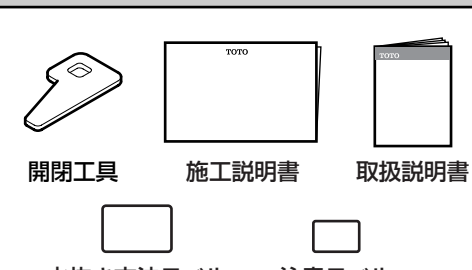
<品番一覧>

スパウト形状	品番	電源	ポップアップ	凍結予防方法
曲線タイプ	TEL70AFX	AC100Vタイプ	無	・凍結予防制御盤(別売品:TEC6型)とセットによる間欠流動方式 ・水抜き方式
	TEL71AFX		有	

3

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

機能部	スパウト部
 <p>機能部 センサーコネクター 電源コード</p>	 <p>スパウト パッキン 座金 六角ナット クランプ スパウト連結ホース センサーコード</p>
給水脚部	その他
 <p>フィルター付き止水栓 連結管 フランジ</p>	 <p>開閉工具 施工説明書 取扱説明書 水抜き方法ラベル 注意ラベル</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

4

取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力範囲は、0.05～0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPaに減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 配線について

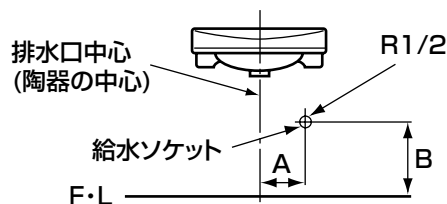
- 電源はAC100V(50/60HZ)、最高消費電力は11Wです。
必ずこれに適した配線をしてください。
- 感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
機能部裏側にはアース端子付きです。必ずアース(D種接地工事100Ω以下)工事を行い、アース線を確実に接続ください。
なお、アース線は現場でご用意ください。
使用電線：600Vビニール絶縁電線またはケーブル
(φ1.6mm・φ2.0mmの単線または2.0mmのより線)

3. その他

- センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- ステンレス製およびメッキを施した手洗器や洗面器にはご使用できません。(誤作動するおそれがあります)
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4. 給・排水取り出し位置について

- 陶器の品番により取り付け寸法が異なります。
詳細は、下表を参考のうえ、取り付けてください。



アクアオート製品番	取付可能陶器品番	A	B	取付穴径
TEL70AFX	L5B・D	100	350	カウンター φ25 洗面器 φ28
	L7			
	L10D			
	L30D・DM			
	L103A・D			
	L210D・DM			
	L230DS・S			
	L250A・AM ・D・DM			
	L270D・DM			
	L331RA			
	L468B			
	L503AR			
	L507AU			
	L594U			
	L650D			
	L652D			
L832DRU				

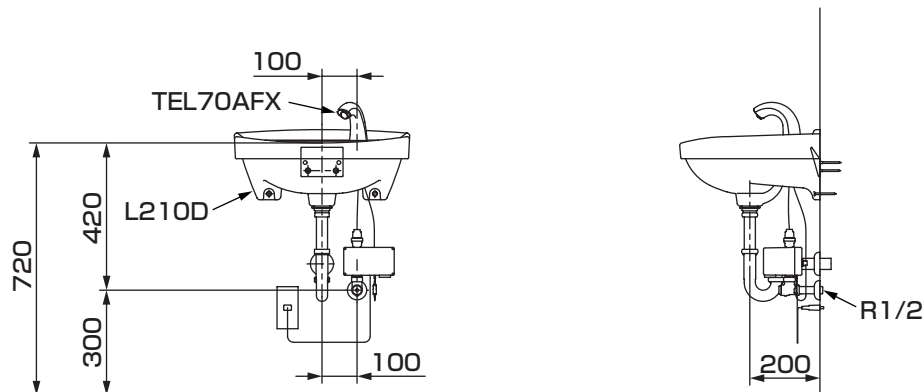
アクアオート製品番	取付可能陶器品番	A	B	取付穴径
TEL71AFX	L210C	100	300	カウンター 洗面器 φ35
	L250C			
	L260C			
	L260C +L260F			
	L210CM			
	L250CM			
	L260CM			
	L260CM +L260F			
	L270C・CM			
	L330RC			
	L331RC			
	L507CU			
	L517			
	L521C			
	L525CU			
	L537U			
	L546U			
	L548U			
	L580U			
	L581CU			
L582CS				
L587U				
L589AC・ACM				
L700C				
L710C				
L830CRU				
L830CMRU				
L851CU				
LU553U				
M928				

- 床給水の場合、給水金具(別売：T6BX)をご利用ください。

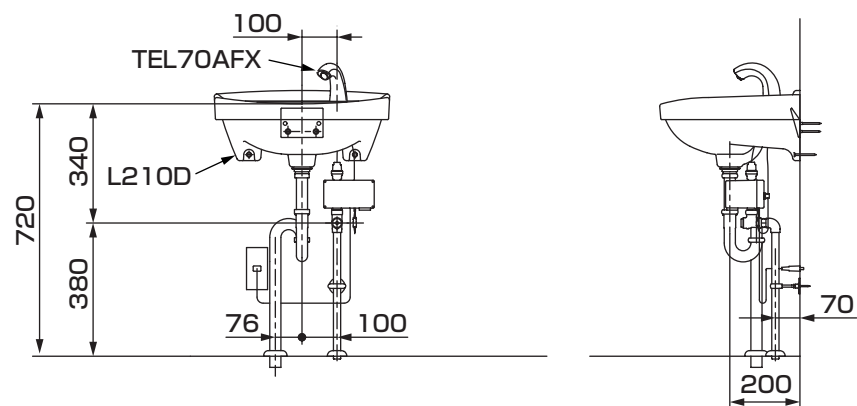
5 完成図 (例)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

L210D+TEL70AFXの場合(壁給排水)



L210D+TEL70AFXの場合(床給排水)



6-1 施工手順

- 5 スパウトの仮締め
- 10 スパウトの固定
- 9 センサー内ランプの確認
- 7 コネクターの接続
- 6 スパウト連結ホースの接続
- 1 給水管内の清掃
- 2 給水脚の取り付け
- 3 アース線の接続
- 8 電源プラグの差し込み
- 4 機能部の取り付け

クランプで結束すること。
ホース折れ曲がりのないよう
に注意すること。

注意

クリーンドライ(温風乾燥器)などのセットでは、クリーンドライのセンサービームが陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。

1 給水管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

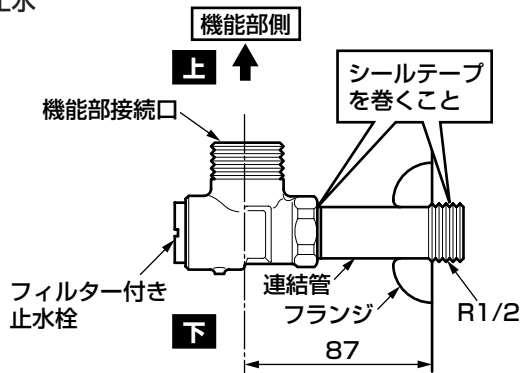
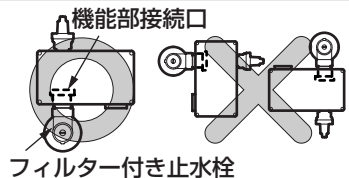
裏面へつづく

2 給水脚の取り付け

フランジ、連結管、フィルター付き止水栓を取り付ける。

注意

必ず機能部接続口が上になるように固定してください。水が侵入し、不具合の原因になります。



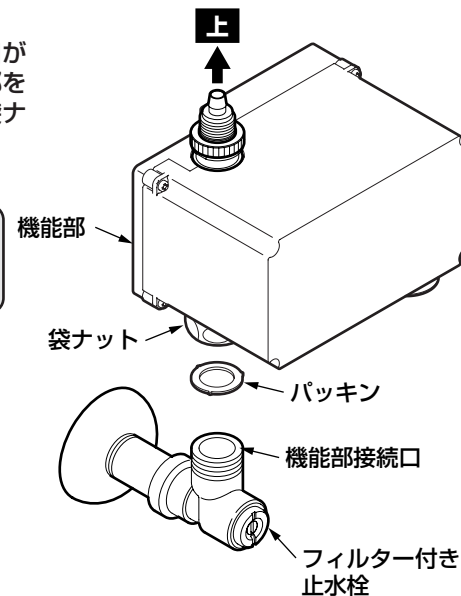
※床給水の場合、給水金具(別売:T6BX)をご利用ください。

4 機能部の取り付け

フィルター付き止水栓の機能部接続口が上になっていることを確認し、機能部をフィルター付き止水栓に取り付け、袋ナットで締め付ける。

注意

必ず袋ナット内にパッキンが入っていることを確認してください。

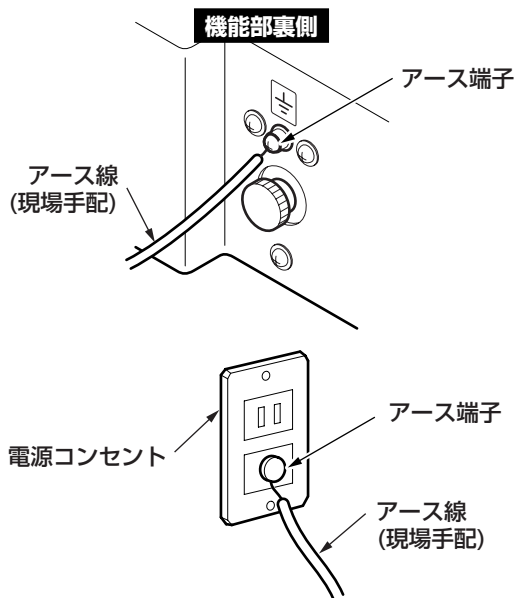


3 アース線の接続

- ①機能部裏側にあるアース端子のねじにアース線(現場手配)を接続する。
- ②反対側を電源コンセントのアース端子に接続する。

注意

- アース線は現場で手配してください。
- アース線を付けたり外したりするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 次の場所にはアース線を絶対に接続しないでください。(法令などで禁止されています)
・ガス管 ・水道管 ・電話線
・避雷針のアース
万一の感電防止のため、漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。

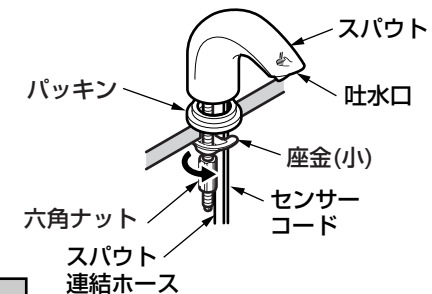


5 スパウトの仮締め

- ①スパウトを陶器取付穴に差し込む。
- ②吐水口を排水口方向に向け、座金を六角ナットで仮締めする。

注意

スパウト連結ホースとセンサーコードのかみ込みに注意してください。



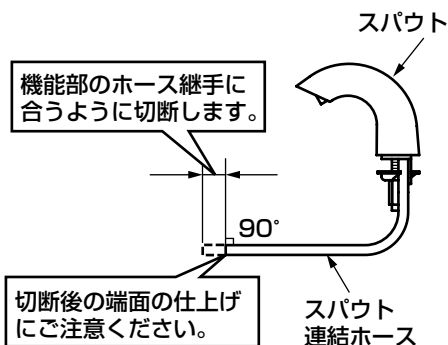
	右側	中央
スパウト位置	排水口 スパウト ボール面中心	排水口 スパウト ボール面中心

6 スパウト連結ホースの接続

- ①スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注意

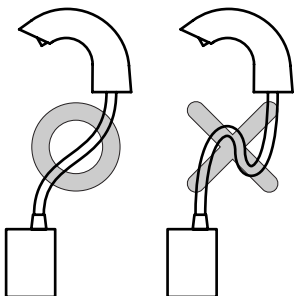
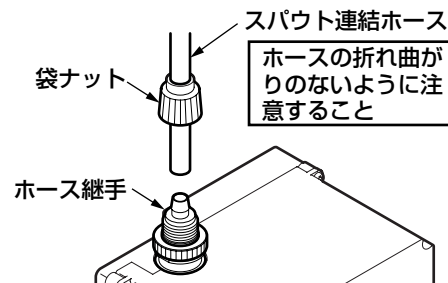
- カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



- ②スパウト連結ホースに袋ナットを通す。
③スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。
④袋ナットを**手で締め付ける**。

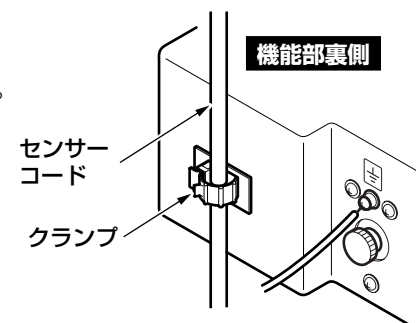
注意

- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
- 連結ホースがトラップ状にならないように注意してください。



7 コネクタの接続

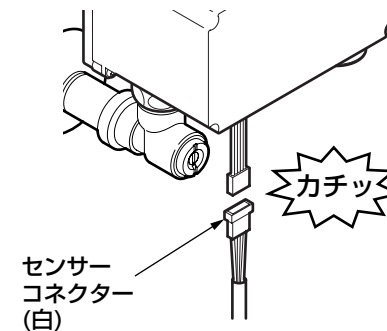
- ①機能部裏側のクランプを開け、スパウトからのセンサーコードを通し、クランプを閉める。



- ②機能部からのセンサーコネクタ(白)に「カチッ」というまで差し込む。

注意

コネクタの接続は、ロックが確実にかかるまで差し込んでください。また、防水用リングを傷つけないでください。

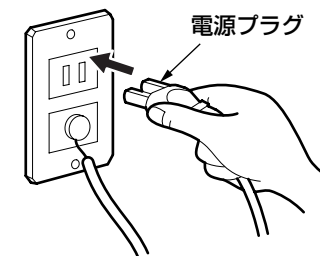


8 電源プラグの差し込み

電源プラグをコンセントに差し込む。

注意

- 電源投入後、5秒間水が出ます。
- 電源が入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)



9 センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。

注意

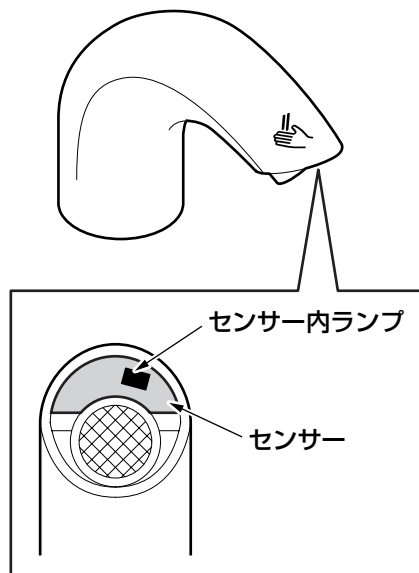
●センサー内ランプの確認をする際は、必ずセンサーを陶器のボウル面中心に向けてください。

●陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがあります。その場合はそのまま設定してください。(ランプの点滅は約10分後に消えます)

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動に点滅が消えるまでにスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクターを一度抜き、差し込み直してください。

注意

センサーコネクターを差し込み直すと、5秒間水が出ます。

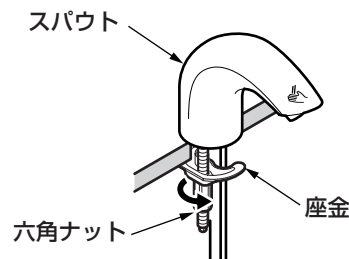


10 スパウトの固定

六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

※六角ナットの締め付け用として、専用工具(別売: TZ40L)を準備しておりますが、下記の一般工具でも取り付け可能です。

- ・ソケットレンチ (対辺13mm)
- ・T型レンチ (対辺13mm)
- ・ナットスピナーハンドル (対辺13mm)



試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①水漏れの確認

止水栓を開き、連結管やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

②水を出す・止める

●吐水口に手を近づけると水が出ます。

●手を離すと約1~2秒後に水が止まります。

●設置後すぐは、エアがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めてください。

●手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。

(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないで約15秒で水が止まります)

●センサー前面から約4cmの位置に開閉工具など反射しやすい板状の物を感知させると、最大1分間水を連続して出すことができます。

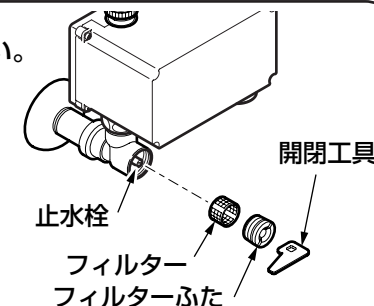
※正常に動作しない場合は、「6.3 施工手順」の「7 コネクターの接続」から再度ご確認ください。

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。

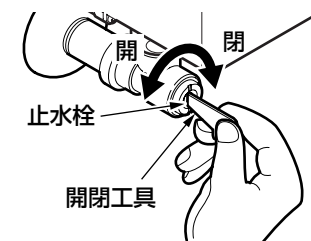


3. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁(4L/分)を内蔵していますので、流量の調節は不要です。

止水栓は全開でご利用ください。

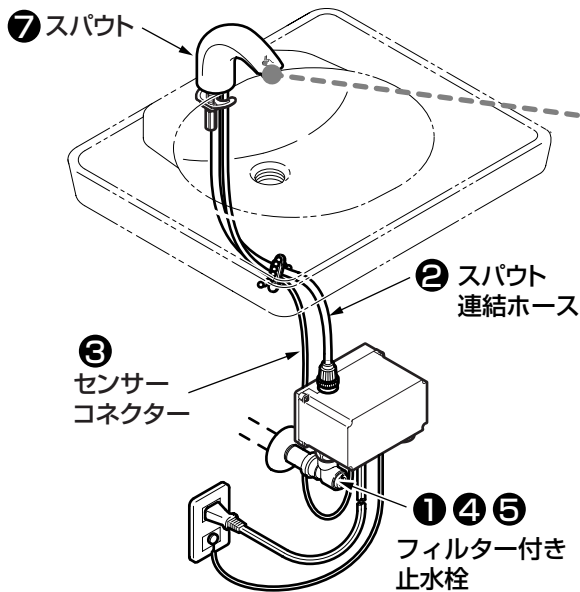
ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、付属の開閉工具で止水栓を回して、流量を調節してください。



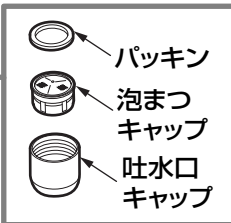
8

点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



吐水口 ⑥



流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

④ 止水栓は開いていますか？

➡ ⑦ ③. 流量の調節 参照

⑤ フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ ⑦ ②. フィルターの掃除 参照

⑥ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑦ スパウトのガタツキはないですか？

➡ ⑥.4 - ⑩ 「スパウトの固定」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 止水栓部の水漏れはないですか？

➡ ⑥.2 - ② 「給水脚の取り付け」参照

② スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか？

➡ ⑥.3 - ⑥ 「スパウト連結ホースの接続」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

③ コネクターはしっかり差し込まれていますか？

➡ ⑥.3 - ⑦ 「コネクターの接続」参照

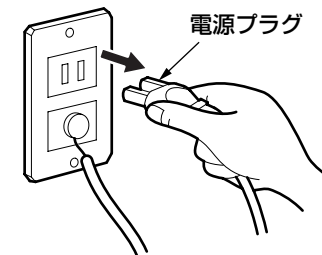
9

水抜き方法

凍結予防制御盤(別売品:TEC6型)とセットで使用しない場合で、凍結が予想される時期に施工・使用される場合は、水抜き作業を必ず行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓(配管部)を開ける。

2. センサーに手をかざして吐水口から水が出ないことを確認し、電源プラグをコンセントから抜く。

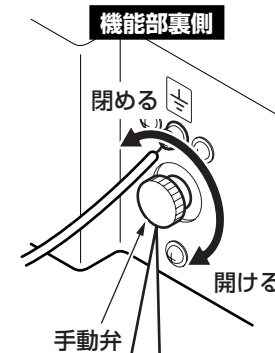


3. 機能部裏側の手動弁を時計回りに回し、開ける。

2~3分で機能部内の水が抜けます。

※手動弁を回転させにくい場合、ペンチなどを使用してください。

4. 2~3分後、手動弁を反時計回りに回し、閉める。



注意

水抜き完了後に水を出すと、エアがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めしてください。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。